

## 獅子島 (鹿児島県長島町)

### ～ICT技術を活用した獅子島空き家対策プロジェクト事業～

#### 《概要》

#### 島の課題

- 獅子島島内の人口減少に伴い、危険家屋も含めた島内空き家の数が増加しているが、空き家の実態は把握が難しく「いつか戻るかもしれない」「先祖の仏壇があるため譲れない」といった事情から不動産物件として登録・公開に至っていない状況である。

島外からのI Uターンの問合せは増加しているため、島に残り産業を守っている若年層からは移住者を招き入れ活性化を望んでいる現状である。

#### ● 長島町獅子島

鹿児島県



#### 調査体制

長島町  
未来技術  
地域実装  
協議会

- (株) 阪急交通社
- 長島町役場
- 株式会社川商ハウス
- 株式会社ままま

その他関係者が協力

#### 主な取組概要

- 360度カメラにて、空き家撮影、町の暮らし(生活・仕事コンテンツ)の撮影し、移住に対する島のイメージを明確化させる。
- 都市圏・地方圏にて、VR体験会を設置し、遠隔による不動産窓口を体験してもらい、情報発信し検証すめる。
- 鹿児島県内で大手不動産会社「株式会社川商ハウス」に、バーチャル不動産として相談窓口対応を担い、「webカメラによる相談」「VR技術を活用した現地内見」の2段階で遠隔相談を展開。

#### 目指す姿・期待する効果

##### OICTを活用した空き家情報の管理・提供体制の構築

獅子島島内の空き家情報のデータベース化を行い、U・Iターン者を初めとした移住・定住希望者への情報提供を促進する。

##### ○移住・定住希望者への支援強化⇒島への移住・定住の促進

データベースやVR技術等の活用により、島の魅力を詳細に伝えつつ、きめ細やかな相談対応を行う体制を構築し、移住・定住検討者の不安・疑問を解消しつつ着実に移住・定住に繋げていく仕組みの構築を目指す。また、不動産会社と自治体が協働することで、離島の空き家を生かした移住支援を持続的にすすめる官民連携のモデル構築の一助とする。

#### 獅子島空き家対策プロジェクト

集落情報の提供  
生涯学習講座の情報提供  
地域のクラブ・サークル活動等

獅子島  
(地元)

不動産業者

物件情報の共有  
地域情報の共有

- ・長島町総合振興計画
- ・長島町空家等対策計画

- 【HP】
- ・空き家情報の公開
  - ⇒埋め込みで下記内容を併設
  - ・物件及び周辺のVR画像
  - ・オンライン相談へのリンク

物件情報の確認  
現地の状況の確認  
地域の情報確認  
移住・定住支援サイトでの  
情報発信支援

移住・定住希望者

オンライン相談対応

#### 《主な実証内容》

#### 主な実証内容・検証項目

##### 空き家・島の生活を体験する360度画像の撮影

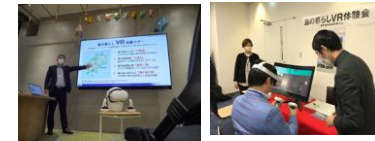
学校生活(獅子島小学校)・買い物(獅子島マート・池元商店)・仕事内容(アオサ養殖・柑橘栽培)・観光情報(黒崎展望所・化石パーク)など4つのコンテンツを作成した。

(5回撮影実施)



##### 体験会の実施

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ①アイランダー2022(池袋) | 2022年11月19～20日 |
| ②阪急交通社(新橋ビル)    | 2022年12月21日    |
| ③阪急交通社(鹿児島支店)   | 2023年1月19日     |
| ④ららぽーと福岡auショップ  | 2023年1月28日     |
| ⑤獅子島ウォーク        | 2023年2月5日      |



##### 空き家情報を紹介するwebサイト『長島暮らし』を公開

サイト上にVR体験の予約を受け付けるフォームを設置窓口での案内に誘導



#### 主な実証結果

期間中の移住相談体験者数 75名(目標50名)

体験者の満足度 8.6点(10点満点・目標6)

#### 成果と課題

##### 成果

- ・体験した人は現地に行かなくても物件の情報を確認できるという、これまでにない便利さを実感出来た
- ・島暮らしの理解度を高めることに効果が高かった
- ・移住以外にも、体験学習や観光などの用途の可能性が生まれた
- ・獅子島来島者のVR体験から空き家賃貸希望1件有

##### 課題

- ・移住の関心をつくることではなく**若年層の移住希望者の理解度をあげる**ことに有効。
- ・イベント等での**ブース出展で潜在的なニーズを生み出す**ことが有効
- ・**運営費用の負担(年間400万程度)**を、単一地域では賅うことが難しい
- ・他地域での展開の希望などが集まり**広域での展開**が望まれる
- ・WEBでの問い合わせを得るには、周知方法の改善が必要
- ・VRでの紹介方法については**試行錯誤**が必要で、コンテンツのますますの拡充が必要

#### 今後の展開

次年度、多くの離島を有する鹿児島県の自治体と川商ハウスが中心となって関わり方を検討していく。島々の多い鹿児島県ならではの枠組みを作っていくことを目指す。

- ①鹿児島県内の多くの離島の不動産情報を地域間連携により紹介可能にする
- ②民間の連携事業として、観光面・不動産面双方で協力して継続していく。
- ③バーチャル不動産店舗として運営し、鹿児島市内の物件を郊外や地方部での紹介可能にする

2022年度

2023年度～2024年度

2025年度以降

・実証調査の実施

・広域での利用促進

・鹿児島県域でのサービス提供

・全国への横展開